

平成 28 年度 第 2 回 五泉市地域公共交通活性化協議会

日時 平成 29 年 3 月 16 日(木)

14 時 00 分～

場所 五泉福祉会館 3 階 大会議室

議 事 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 平成 28 年度 ふれあいバスの利用状況について
- (2) 平成 28 年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について
- (3) 平成 29 年度 事業の実施計画案について
- (4) 平成 29 年度 予算案について

4 その他

- (1) 平成 28 年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について

5 閉 会

【配布資料】

◇議事次第 ◇委員名簿 当日配付 ◇配席図 当日配付

【議事資料】

資料 1.	ふれあいバス・ごせん乗合タクシー「さくら号」利用の推移	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 2.	平成 28 年度 ふれあいバス利用状況	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 3.	平成 28 年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」利用状況	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 4.	平成 29 年度 五泉市地域公共交通活性化協議会事業実施計画(案)	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 5.	平成 29 年度 五泉市地域公共交通活性化協議会 予算(案)	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 6.	平成 28 年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)

平成 28 年度 第 2 回 五泉市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

【 敬称略 】

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	五泉市	市長	いとう かつみ 伊藤 勝美	会長
2	新潟交通観光バス株式会社	代表取締役社長	こだ さとし 古田 哲	欠席
3	蒲原鉄道株式会社	代表取締役	しげの かずひろ 茂野 一弘	
4	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社総務部企画室	室長	まえかわ さちこ 前川 幸子	欠席
5	泉観光バス株式会社	代表取締役	せきづか まさゆき 関塚 政行	くぼ やすひろ 代理出席:久保 康博
6	公益社団法人 新潟県バス協会	専務理事	たかはし せいきち 高橋 清吉	欠席
7	みどりハイヤー株式会社	代表取締役社長	のざき かずひさ 野崎 和久	新任
8	新潟県新潟地域振興局 新津地域整備部	部長	たなはし げん 棚橋 元	うえむら のぼる 代理出席:植村 昇
9	五泉市都市整備課	課長	つかの かずや 塚野 一也	
10	新潟県五泉警察署	署長	すずき みつし 鈴木 光司	わたなべ ともお 代理出席:渡邊 友夫
11	五泉市老人クラブ連合会	副会長	わたなべ しょういち 渡辺 庄一	欠席
12	五泉市小中学校 PTA 連絡協議会	巢本小 PTA 会長	いたがき けいたろう 板垣 圭太郎	欠席
13	長岡技術科学大学	教授	さの かずし 佐野 可寸志	副会長 欠席
14	国土交通省北陸信越運輸局 交通政策部交通企画課	課長	たかはし ともひこ 高橋 智彦	たちなみ ひろき 代理出席:立浪 弘貴

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
15	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	こまつ みほこ 小松 美保子	欠席
16	新潟県新潟地域振興局 企画振興部	部長	いいひら よしふみ 飯平 喜文	
17	新潟市秋葉区地域課	課長	ながさき しのぶ 長崎 忍	欠席
18	加茂市福祉事務所	所長	あおやぎ よしき 青柳 芳樹	欠席
19	阿賀野市総務部	部長	まるやま さとし 圓山 知	新任 代理出席:星 豊 ほし ゆたか
20	五泉商工会議所	専務理事	おやなぎ たかし 小柳 隆	監査員 欠席
21	村松商工会	事務局長	よこやま よしなり 横山 芳成	監査員
22	五泉市商工観光課	課長	かわむら まさみ 川村 正美	
23	五泉市社会福祉協議会	会長	ひうら みつお 樋浦 三男	
24	五泉市健康福祉課	課長	みながわ ひでお 皆川 秀男	代理出席:熊倉 雅行 くまくら まさゆき
25	日本労働組合総連合会 新潟県連合会 下越地域協議会五泉支部	運営委員	さとう よしのり 佐藤 良徳	欠席
26	五泉市高齢福祉課	課長	くまくら ひろし 熊倉 央	
27	五泉市教育委員会 学校教育課	課長	すぎやま しんじ 杉山 信二	代理出席:加藤 俊昭 かとう としあき

【事務局】 五泉市企画政策課

■議事録

開会 14:00	
司会 (林補佐)	<p>みなさまお忙しいところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。定刻になりましたので五泉市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。</p> <p>お手元の次第に従いまして進めさせていただきます。最初に伊藤会長からご挨拶を申し上げます。</p>
伊藤会長	<p>みなさんこんにちは。本日は大変ご多用の中、ご出席を賜りましてありがとうございます。また、日頃は公共交通の活性化を通しまして五泉市の各課に渡る事業に対し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。</p> <p>さて、平成22年10月の、ふれあいバスと乗合タクシー「さくら号」の運行開始以来、委員の皆様から多大なるご協力をいただきまして順調に推移をしているところでございます。心より感謝申し上げます。地域に密着した移動手段として、市民にとって大切な公共交通という認識も深まっているところでございます。</p> <p>しかしながら人口減少問題、合併以来 6,000 人減少している本市であります。お年寄りが使う交通手段という意味合いが大きいというところでございますが、そういった高齢者の方たちが亡くなっている中におきまして、これからの地域に密着した公共交通をどのように考えていくのか。タクシー(さくら号)のように地域の中にもバスが入らないかという要望も頂きますし、また、タクシーにおきましては、エリアを無くしてもらえないかと、やはり乗り換えるという手段が大変重荷に感じられる方々もおられます。そういった中において財政危機の面もあろうかと思いますが、五泉市のより良い公共交通手段としての議論を深めていきたいと考えております。</p> <p>本日は、これまでの利用状況と平成29年度の実施計画案、予算案についてが主な議題となっております。それぞれの分野からお越しいただいている委員の皆様でございますので、忌憚のないご意見、ご指導いただきますようお願い申し上げます。開会の挨拶に代えさせていただきます。本日はどうかよろしくお願いいたします。</p>
司会 (林補佐)	<p>続きまして、委員の変更がございましたのでご報告させていただきます。お手元の名簿をご覧ください。名簿の7番・野崎委員、19番・圓山委員、以上お二方が変更となりました。新たに委員となられたみなさまから簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>自己紹介</p> <p>それでは、これより議事に入りますけれども、進行を伊藤会長からお願いしたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>はい、議事の進行をさせていただきます。ご協力のほどお願い申し上げます。議事に入る前に、本協議会規約第12条第2項の規定により、「会議の成立は委員の過半数」となっておりますので、委員の出席数を事務局から報告してください。</p>

事務局 (高橋主事)	委員の出席状況についてご報告をさせていただきます。委員27名中、ただいまの出席は16名です。宜しくお願いいたします。
伊藤会長	<p>今ほど、事務局から27名中16名の出席と報告がありました、過半数に達しておりますので、この会議は成立しております。それでは議事に入ります。</p> <p>「(1)ふれあいバスの利用状況について」、「(2)ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について」を議題とし、事務局から説明を求めます。</p>
事務局 (堀内主査)	<p>説明に入る前に、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>資料の確認</p> <p>それでは、「(1)平成28年度 ふれあいバスの利用状況について」、「(2)平成28年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について」説明させていただきます。</p> <p>まず、資料1をご覧ください。ふれあいバス・ごせん乗合タクシー「さくら号」利用の推移となっております。青色の部分がふれあいバスを、ピンク色の部分がさくら号を表しています。それぞれ左側表の上段が年間利用者数、下段が年間運賃収入となっております。表中の数値ですが平成27年度まではそれぞれの実績値が、平成28年度につきましては2月末までの実績に3月の見込みを含めたものを記載しております。なお、平成28年度見込みの算出方法としましては、4月から2月までの実績値から対前年比率を算出し、昨年の3月実績値にその比率を乗じて見込みを算出しております。右のグラフでも読み取れますとおり、ふれあいバス、および さくら号とともに平成22年度の導入当初から利用者数は増加傾向をたどってまいりましたが、平成27年度に初めてそれぞれ減少へ転じました。平成28年度は、ふれあいバスは増加に転じる見込みである一方、さくら号は昨年同様減少する見込みとなっております。</p> <p>つづきまして3ページをご覧ください。こちらは平成29年2月末現在でのふれあいバスの利用状況でございます。上段の表では月別利用者数が、下段の表では平均利用者数が記載されております。月別利用者数の表の下に、前年同月比が記載されておりますが、4月から3月まで月ごとに差はあるものの、多くの月で前年度を上回り、年間トータルでも前年度を上回る見込みとなっております。要因として、定期券利用割合の増加、高校生の通学での利用増加が大きく挙げられます。特に春先は多くの方からご利用いただきました一方、利用者増加の影響により一部の便が非常に込み合うという問題も発生しました。2. の平均利用者数では平日と土日祝日での利用者数の差が3倍から4倍あるのが確認できます。また、前年27年度との比較では、平日の利用者が増加する一方、土日祝日では減少していることが確認できます。</p> <p>つづきまして、4ページをご覧ください。こちらはバス停別利用状況でございます。1年に4回、季節ごとに実施している乗降調査のデータからバス停別の利用状況をグラフに表したものになります。この乗降調査は年4回実施され、各回において1週間を調査期間とし、期間中の全便の乗り降りした人の数、場所等を調</p>

査集計しております。中身を見てみますと、交通結節点である五泉駅や村松駅、また高校の最寄バス停であります五泉高校前や学校町1丁目、そのほか今泉や南部郷総合病院前、五泉市役所、さくらアリーナ前なども各種理由から乗り降りが多く行われていることが見て取れます。

つづきまして、6ページをご覧ください。こちらはふれあいバスにおける収入であります。表中の前年同月比を見ますと、多くの月で前年度を上回る割合となっております。大きな要因としては先ほど同様、学生の利用者数増加があげられ、乗り放題券の販売が増加しました。収入全体に占める割合を表す右下の円グラフを見ますと、乗り放題券は45.9%を占めており、前年度より3.6%増加しております。

つづきまして、7ページをご覧ください。こちら、ごせん乗合いタクシーさくら号の利用状況でございます。はじめに1.の利用登録者数ですが、2月末時点で、合計7,810名、今年度1回でもさくら号を利用された事がある方を表す実利用者数は、1,737人となっております。2.の利用登録世帯数では合計4,219世帯、その中で実利用世帯数は1,454世帯となっております。

下のグラフでは、実利用者数及び実利用世帯数の推移を表しており、導入当初の22年度からの各数値の推移が表記されております。ご注目頂きたいのは28年度(一部見込みが含まれている)が、27年度と比較して実利用者数、実利用世帯数ともに減少している点です。これは実際にさくら号を利用されている人数そのものが減っていることを表しており、この実利用者数の減少がさくら号全体の延べ利用者数の減少に大きく影響していると推測されます。減少している多くは高齢者、特に70代に多くみられ、減少数の約3分の2を占めています。

つづきまして、8ページをご覧ください。3.月別利用者数でございます。こちらも27年度と28年度が比較できるように記載されてございますが、前年同月比を見ますと概ね100%を割り込む形となっております。下の4.平均利用者数も同様に前年度よりも数値が減少しております。

つづきまして、9ページをご覧ください。年代別利用者でございます。2月末までの延べ利用者数を年代別に集計しグラフにしたものでございます。70代・80代の高齢者の利用が多くみられます。注目すべき点として、27年度との比較増減が挙げられます。年齢が若い未就学児から50代までの利用者数は概ね増加している一方、60代を境として高齢者世代は減少しています。この傾向は各エリアや地域での違いは見られず、先ほどのさくら号の月別利用者数で確認できましたように、季節での差も見られません。五泉市全体で、また通年を通して見られる傾向となっております。高齢者を中心とした実利用者数減少の影響が、地域・エリアを問わず通年に渡って延べ利用者数の減少へつながったものと推測されます。

ここで、さくら号の実利用者数の減少というものを考えますと、単純に利用していた人が減った、利用しなくなったという理由がある一方、新たに利用する人が

	<p>減った、または少なかったという視点もございます。人口減少社会を迎え、五泉市全体の人口は減少傾向にあります。65歳以上の人口はここ数年微増している状況でございます。そこで、これまでさくら号を利用したことが無い方、または、高齢者の仲間入りをされた方をターゲットとして新たな利用者を増やし、また継続してご利用いただけるよう利用の定着を目指す、その点が公共交通としての重要な課題であると考えております。</p> <p>つづいて6.乗降場所の傾向でございます。黄色が乗った場所、青が下りた場所を示しております。多くの方が医療機関でさくら号から降り、スーパーや商店から乗って帰る、そういった傾向がみられ、日常の生活交通としてさくら号をご利用いただけているということが推測されます。</p> <p>つづいて10ページをご覧ください。7. 時間帯別利用状況です。こちらは黄色の部分が郊外発→市街地行き、水色の部分が市街地発→郊外行きの便を表しております。郊外発では、9:00便、10:00便の利用がピークとなっており、市街地発では、12:30便がピークとなっております。このことから9:00便、10:00便でお出かけされ、12:30便で帰宅される方が多くなっているということがうかがえます。</p> <p>つづきまして11ページをご覧ください。8. さくら号の収入でございます。前年同月比を見ますと、先ほど8ページで確認しました月別の利用者数とは異なり、この収入の面では100%を上回る月が多くなっております。そのため1年間で見ますと、利用者数は前年度100%を割り込む一方、収入は100%を超える見込みとなっております。ここに、実際の利用と収入の面での“かい離”があることが分ります。理由としましては、回数券の販売が伸びていることが挙げられます。さらに、その理由として、免許の返納件数が今年度増加していることが大きな要因となっております。市の環境保全課が実施しております、高齢者の免許返納支援制度として免許返納した高齢者へさくら号やふれあいバスの回数券をお渡しする事業を行っておりますが、件数として前年度比約2割増、金額として2月末時点として30万円が増加しております。以上報告となります。</p>
伊藤会長	<p>(1)平成28年度 ふれあいバスの利用状況について (2)平成28年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでございますので、議事の「(1)平成28年度 ふれあいバスの利用状況について」と、「(2)平成28年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用状況について」は報告ということでご了解いただきます。</p> <p>つづきまして、「(3)平成29年度 事業の実施計画案について」、「(4)平成29年度 予算案について」事務局の説明を求めます。</p>

<p>事務局 (堀内主査)</p>	<p>議事(3)平成29年度 事業の実施計画(案)について</p> <p>それでは12ページの資料4をご覧ください。平成29年度 五泉市地域公共交通活性化協議会 事業実施計画(案)です。まず、1.ふれあいバス運行についてですが、運行形態は道路運送法第4条による一般乗合運行(定時定路線型)を継続いたします。運行日・運行ダイヤも、年末年始(12月31日～1月3日)を除き、毎日運行といたします。また、他の公共交通機関との連携を考慮した運行ダイヤを設定し、利用者の利便を図っていきます。運賃につきましては、中学生以上200円、小学生100円、未就学児無料と、今までと同様の運賃設定を行う予定でございます。</p> <p>次のページをご覧ください。運行車両については中型車両1台、小型車両2台の計3台を、五泉市から五泉市乗合バス協議会へ貸与し運行を行います。乗降調査につきましては、本年度同様に年4回実施し、各回では一週間継続して全ての便で調査を行う予定です。</p> <p>つづきまして14ページをご覧ください。2.ごせん乗合タクシー「さくら号」運行についてでございます。運行形態は、道路運送法第4条による区域乗合運行を継続いたします。利用方法は事前予約制とし、予約受付・配車は ごせん乗合タクシー「さくら号」受付センターが行います。運行エリアは、市内を3つの基本エリア(五泉東、五泉西、村松)に区分し、2か所の共通エリア(五泉共通、五泉東・村松共通)を設けます。運行日は月曜日から土曜日までとし、休日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/31～1/3)は運休といたします。運賃は中学生以上 1 回300円、小学生150円、未就学児は無料とし、今までと同様の運賃とさせていただきます。</p> <p>次に15ページをご覧ください。3.公共交通利用促進事業についてでございます。五泉市公共交通時刻表として、ふれあいバス・乗合タクシー「さくら号」・高速バス・民営路線バス・加茂市営市民バス等、市内を運行する公共交通を網羅した総合パンフレットを作成いたします。合わせて点字の総合パンフレットについても継続して作成していきたいと思っております。</p> <p>つづいて地域住民、利用者へのPR活動といたしまして、通学での利用が多いふれあいバスにつきましては、市内高校の新入生に向けた利用PRを行っていきます。ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用を進めるため、高齢者を重点対象として位置付け、お茶の間サロンへの訪問や免許返納手続きで市役所へ来られた方へ周知を行うなど、利用促進の PR 活動に重点を置いてまいります。また、市内の公共施設・医療機関等へ総合パンフレットを配布し、公共交通利用について広く市民へ周知を行っていきます。合わせて、広報ごせんや市のホームページを利用し、ふれあいバス、ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用方法や運行実績、時刻表や運行概要を掲載し、PRと情報提供を行っていきます。</p>
<p>事務局 (塚野補佐)</p>	<p>議事(4)平成29年度 予算(案)について</p> <p>つづきまして16ページの資料5、平成29年度予算(案)について説明させてい</p>

たきます。

まず歳入です。1款の負担金ですが、54,405,000円で前年度より3,985,000円の増となっております。主な要因としまして、国県からの補助金の額が昨年より2,421,000円ほど少なくなる見込みだということと、歳出の事業費で250万円ほどの増額の予定が挙げられます。逆にふれあいバスで100万円ほど収入増が見込まれるという事で、それらを差し引きしまして不足になる額を五泉市から負担金としてもらうわけですが、前年度比較で390万円程の増額と見込んでおります。2款の繰越金ですが、前年度と同額の200万円と見込ませていただきました。

3款の諸収入ですが、一番上がふれあいバスの運賃収入ということで1,800万円、こちら前年度比較で100万円の増ということで、先ほどの資料1の28年度決算見込みですと約18,100,000円ほどの決算見込みとなっております、ほぼ同額を見込ませていただきました。中段さくら号運賃収入は前年度同額の1400万円、こちら先ほどの資料1の28年度の決算見込みは14,700,000円ほどですが、27年度・28年度の利用者が減少傾向にあるということで、若干しぼって見込んだところでございます。

返還金13,109,000円は、国県の補助金の申請をすると一旦事業者に入りが入り、それを協議会に振り込んでいただくものを「返還金」として計上していますが、昨年運輸局へ計画申請をさせていただいた補助金の額ということで29年度の予算を計上いたしました。こちら算出にあたっては数式に当てはめルールにのっとり算出をしていくわけですが、さくら号の上限額が下がったため、前年度比較での減額と見込んでいます。歳入の合計が、101,514,000円ということで、前年度比較2,564,000円の増額ということで見込ませていただきました。

次は歳出です。1款の運営費ですが、1項の会議費として84,000円、こちらは前年度と同額で委員報酬などに充てる予定です。2項の事務費は82,000円、こちら前年度と同額で旅費・消耗品・振込手数料などに充てる予定にしております。

2款の事業費、101,337,000円ですが、こちら前年度より増えております。主に委託料の関係でふれあいバスは乗合いバス協議会さん、さくら号はハイタク協議会さん、受付センターの運営は社会福祉協議会さんに委託しておりますが、それぞれドライバー確保のための人件費の増や、燃料費の関係など若干の増が見込まれるということで、昨年度より余計目に見積もりをしております。事業内容については、変更点はございません。

3款の諸支出金は1,000円、予備費は10,000円でそれぞれ前年度と同額となっております。歳出の合計は101,514,000円で歳入歳出同額の予算となっております。よろしくお願いたします。

伊藤会長	<p>「(3)平成29年度 事業の実施計画(案)について」並びに「(4)平成29年度 予算(案)について」説明いただきましたが、ご質疑ございませんでしょうか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでありますので、議事の「(3)平成29年度 事業の実施計画(案)について」と、「(4)平成29年度 予算(案)について」はご承認いただけますでしょうか。異議ございませんでしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>無いようでありますので、原案の通り承認ということで、次に進めさせていただきます。</p> <p>それでは、4 その他 の「(1)平成28年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局 (堀内主査)	<p>平成28年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価についてご説明申し上げます。</p> <p>それでは資料6をご覧ください。国の補助対象事業であります、さくら号の運行事業については、より効果的・効率的に推進することを目的として事業の実施状況や目標達成状況を評価するというのが当協議会に求められます。それを踏まえ昨年末の12月27日付で委員の皆様へ書面協議をお願いいたしまして、ご承認いただいた事業評価を国へ報告いたしました。その報告がこの表の協議会における事業評価結果の部分になります。その報告に対し、北陸信越運輸局が2月27日付けで行った二次評価が届きましたので、そのご報告をさせていただきます。なお、この事業評価で文中に年度という表現が出てきますが、この年度の意味はいわゆる4月始まりの1年間ではなく、運行上の補助年度と呼ばれる10月1日から9月末までの1年間となっています。少しまぎらわしいですが、会の初めにご説明しましたさくら号の利用状況・利用人数と数値結果が若干異なる部分がございます。ご注意ください。</p> <p>それでは内容に触れてまいります。まず、表の上の見出し、②事業概要欄を縦に見ていただきますと、それぞれのエリアごとに評価を実施する形式になっております。まずその中で五泉西エリアにふれてまいります。この西エリアは輸送人員の目標値である前年度比100%よりも多くご利用いただき目標を達成したことから、④事業実施の適切性、⑤目標・効果・達成状況とも“A”評価、⑥事業の今後の改善点についても、今後も利用者数を維持するため促進にかかる啓発等を推進していくとともに利便性向上に努める、という評価とさせていただきました。</p> <p>つづきまして、五泉東エリア・村松エリアでございます。この2つのエリアについては、いずれも事業実施の適切性は“A”評価といたしましたが、ご利用いただいた利用者数・輸送人員の目標値が前年比100%を割って達成できなかったことから、⑤欄で理由を考察のうえ“B”評価、“C”評価をそれぞれつけました。また、今後の改善点として、主に高齢者を対象とした啓発活動を行なっていくという</p>

	<p>ことを挙げています。</p> <p>ここまでが当協議会が行った事業評価であります。その評価に対し北陸信越運輸局からは、それぞれのエリアによって若干の表現の違いはあるものの、前回の事業評価結果の反映状況等は自己評価の通りであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって進めるよう期待する、という二次評価をいただきました。二次評価の報告は以上です。</p> <p>なお、この事業評価結果については一般に広く公表するということが求められています。それを踏まえ、こちらの協議会が行ったものは昨日付で市のホームページで公開いたしました。報告は以上です。よろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>「(1)平成28年度 地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について」ご質問・ご質疑ございませんか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでございますので、報告という事でご了承いただきます。</p> <p>その他につきまして、事務局 連絡事項はありますか。</p>
事務局 (塚野補佐)	<p>それでは、資料は特に無いのですが、毎年作成しております ふれあいバスとさくら号の時刻表の配布について若干説明をさせていただきます。毎年年度末にこちらの時刻表を全戸配布しておりますが、今回は3月24日に配布できるよう現在準備中です。内容的には例年と特に変わる部分はありませんが、若干ダイヤ改正を予定しておりますので、そのご報告をさせていただきます。</p> <p>まず、村松高校さんより朝の便が始業時間ギリギリなので、もうちょっと早くしてほしいと以前よりご要望をいただいております。それを受けまして、今回のダイヤ改正で朝の2便を4分から5分程度早めて、学校に早く着くように改正をする予定です。また JRさんが3月4日にダイヤ改正を行いまして、それにスムーズに接続できるよう昼の1便を改正予定です。JRさんとの乗り継ぎの関係で、今もギリギリ間に合っていますが、もう少し余裕を持って乗り継ぎできるよう要望があった便について、こちら夕方の3便のダイヤ改正を予定し、合わせて6便ほどが今回ダイヤ改正となる予定です。改正日は4月1日からとし、3月24日の広報配布に合わせて時刻表を全戸配布し、周知をしていきたいと考えています。</p> <p>もう一点、説明の中で申し上げましたが、昨年、目の不自由な方向けに点字の時刻表を作らせていただきました。それも現在準備しておりますので、ダイヤ改正をしたものについて新しく配布できるようにしていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>全戸配布ということで、よろしくお願いいたします。</p> <p>委員のみなさまから全体を通してご意見等ございますか。ございませんか。無いようでありますので、以上をもちまして平成28年度 第2回目の会議を終了させていただきます。ご協力いただきましてありがとうございました。</p>
閉会 15:00	